

〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 回 | | | | |
| 覧 | | | | |

高等教育活性化シリーズ 247 (通算 571 回)

2013 年 11 月 26 日 (火)

大学・社会の求める英語力／グローバル人材のインフラ ――

“学力担保”としての検定試験活用策／英語編 II

高等教育活性化シリーズ 256 (通算 581 回)

2013 年 12 月 2 日 (月)

大学英語教育力のホット ――

1・2年次における英語教育プログラムの深化と実際

大学・社会の求める英語力／グローバル人材のインフラ ――

“学力担保”としての検定試験活用策／英語編 II

～大学入試・プレースメント・留学・英語力到達度測定・就職段階／活用の実際～

- ※ 日本人の英語力～国としてどう考えるか／高等教育における英語の受験と学力担保／グローバル人材育成の重要性
- ※ [IELTS] 世界と日本の活用状況／効果測定・留学促進・対策講座・団体受験&トータルソリューション
- ※ [TOEIC®] TOEIC®テスト・Bridge・SW テスト／英語を使えるかどうか見定める有効な指標／効果的な活用
- ※ TEAP 等の習熟度・学習効果・教育効果の測定／TEAP の開発／テストは道具／テストを「読む」能力
- ※ [横浜市立大] 特別選抜入試での活用／英語資格要件の整備と運用／必修科目「Practical English」と TOEFL500

● 講師陣 ●

- 吉田 研作 氏 / 上智大学 言語教育研究センター長 教授 (一般社) グローバル教育情報センター 代表理事
- 塩崎 修健 氏 / (公財) 日本英語検定協会 教育事業部国際課 課長
- 津田 徹 氏 / (一般財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 IP 事業本部学校普及チーム アシスタントチームリーダー
- 渡部 良典 氏 / 上智大学 外国語学部 言語学副専攻 教授
- 出光 直樹 氏 / (公) 横浜市立大学 アドミッションズセンター 大学専門職 学務准教授

2013 年 11 月 26 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

大学英語教育力のホット ――

1・2年次における英語教育プログラムの深化と実際

～専門科目への発展を可能にする運用力と学習支援策／トレーニングと自律学習～

- ※ [神田外語大] 基本的英語コミュニケーション能力からアカデミックな英語能力の育成に向けて
- ※ [国際教養大] 英語能力の熟達／1年間の留学／英語で学ぶ力を養う／英語集中プログラム EAP の実際
- ※ [大阪女学院] 英語教育と学士課程教育の統合／1・2年次基礎段階と到達目標／専門教育への接続
- ※ [関西外大英語キャリア学部] 3年間の取組成果／英語キャリア基礎力／専門科目群・専門留学

● 講師陣 ●

- 小林 真記 氏 / 神田外語大学 英米語学科副主任・准教授
- 長沼奈絵子 氏 / (公) 国際教養大学 EAP コーディネーター・助教
- 加藤 映子 氏 / 大阪女学院大学 学長 大阪女学院短期大学 学長
- 松宮 新吾 氏 / 関西外国語大学 英語キャリア学部 教授・教務部長

2013 年 12 月 2 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

■高等教育活性化シリーズ 247 “学力担保”としての検定試験活用策／英語編 II
 日時：2013年11月26日（火） 10：00～16：50
 会場：剛堂会館（明治薬科大学）会議室（東京・麹町） 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 （東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分）
※本「学力担保」セミナーは、大学関係者のみのご参加とさせていただきます。

■高等教育活性化シリーズ 256 1・2年次における英語教育プログラムの深化と実際
 日時：2013年12月2日（月） 11：00～17：40
 会場：剛堂会館（明治薬科大学）会議室（東京・麹町） 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 （東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分）


| 参加費 | ご一名 (資料代を含む) | メディア参加 (資料及び音声 CD 送付) |
|---|--------------------|-------------------------------|
| 高等教育活性化シリーズ 247 “学力担保”としての検定試験活用策／英語編 II | 41,000 円 (消費税込) | 31,000 円(送料、消費税込) (4講師分のみ) |
| 高等教育活性化シリーズ 256 1・2年次における英語教育プログラムの深化と実際 | 42,000 円 (消費税込) | 43,000 円(送料、消費税込) |

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。
 ※開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。
 ※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 ☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJのURLにてご覧ください。

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

| | | |
|--|-----------------------------------|---------|
| 研修会参加申込書 | 2013年 月 日 | |
| ■高等教育活性化シリーズ 247 “学力担保”としての検定試験活用策／英語編 II | (□に✓印を入れてください) □ 当日参加 □ メディア参加 | |
| ■高等教育活性化シリーズ 256 1・2年次における英語教育プログラムの深化と実際 | □ 当日参加 □ メディア参加 | |
| 支払方法 | □ 当日払い □ 銀行振込 □ 郵便振替 | |
| 必要書類 | □ 請求書 □ 見積書 | |
| 勤務先 | _____ | |
| 〒 | 連絡部課・担当者名 _____ | |
| 所在地 | メールアドレス _____ | |
| TEL | FAX _____ | |
| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
| | | |
| | | |
| | | |

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講義項目 |
|----------------|--|
| 10:00 11:30 | <p>□ [基調講義] グローバル化の拡充と日本の高等教育における英語の受験と学力担保 ～大学に入るまでに求められる英語力と大学で修学すべき英語力～ 上智大学 吉田 研作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近の自民党・政府の教育再生への動き 2. グローバル人材育成の重要性 3. 日本人の英語力 4. 内向きの日本人—外国語に対する自信のなさ 5. 目指すは Multilingual か Plurilingual か 6. 大学入試を考える 7. 大学入試と大学のグローバル教育 8. むすび <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 11:40 12:30 | <p>□ [IELTS] 世界で最もポピュラーな留学・移住のための英語試験「アイエルツ」の活用事例 ～IELTS の優位性と活用状況／IELTS を中心とした英検協会のトータルソリューションの事例紹介～ 日本英語検定協会 塩崎 修健</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IELTS とは？ <ol style="list-style-type: none"> (1) 概要 (2) 試験形式 (3) 受験方法 2. IELTS の活用状況 <ol style="list-style-type: none"> (1) 世界での IELTS ～他の英語検定との違い (2) 日本での IELTS ～大学等への導入事例 3. IELTS を中心とした英検協会のトータルソリューションの事例紹介 <ol style="list-style-type: none"> (1) 英語教育効果測定大規模導入型（東京大学、国際基督教大学など） (2) 留学促進講座＋団体受験型（京都大学、青山学院大学など） (3) 対策講座＋団体受験型（立教大学、お茶の水女子大学など） (4) トータルソリューション型（明治大学、首都大学東京など） 4. まとめ <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 13:30 14:30 | <p>□ [TOEIC®] TOEIC®, SW テスト、TOEIC Bridge® の活用策 ～TOEIC の優位性と活用状況／入学・在学時・就職へのトータル支援～ 国際ビジネスコミュニケーション協会 津田 徹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC テストとグローバル人材 <ol style="list-style-type: none"> (1) 企業における英語使用状況 (2) 教育再生実行会議提言について 2. グローバル人材育成推進事業と TOEIC テスト <ol style="list-style-type: none"> (1) 採択大学例 (2) 英語 4 技能の必要性 3. TOEIC スピーキングテスト・ライティングテスト (SW テスト) について <ol style="list-style-type: none"> (1) SW テストの内容～英語を“使える”かどうか見定める有効な指標 (2) SW テストの実施方法 (3) その他 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 14:40 15:40 | <p>□ TEAP 等の到達度テスト活用法：習熟度、学習効果、教育効果の測定 ～日本における大学入学資格授与の判定および入学後の活用～ 上智大学 渡部 良典</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学考査の目的 (the purpose of university admission assessment) <ol style="list-style-type: none"> (1) 到達度の確認・判定 (assessing achievement) (2) 熟達度の確認・判定 (assessing proficiency) (3) 英語力の測定とその他の科目の測定 (assessing English and assessing other subjects) 2. TEAP の開発 (developing TEAP) <ol style="list-style-type: none"> (1) 目的 (purpose) と受験対象 (test-takers) (2) 使用法 (using TEAP) (3) 妥当性の検証 (validating TEAP) 3. 役に立つ大学入学試験 (useful university admission assessment) <ol style="list-style-type: none"> (1) テストは道具、使用法が大切 (using assessment as an instrument) (2) テストを「読む」能力が必要 (promoting assessment literacy) <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |
| 15:50 16:50 | <p>□ [横浜市立大] 特別選抜入試における各種検定試験の活用方策 ～英語資格要件の整備と実際の運用～ 横浜市立大学 出光 直樹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目「Practical English」と TOEFL500 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2005 年の学部改組と「Practical English」の導入 (2) 単位認定要件としての TOEFL500 と 3 年次進級問題 2. 特別選抜入試における英語資格要件の整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別選抜入試（指定校推薦・AO入試・その他）の位置づけ (2) 英語資格要件整備のプロセスと運用 (3) 入試区分毎の志願者の状況 (4) 入学後の成績追跡調査 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |

| 時間 | 講義項目 |
|---------------------|--|
| 11:00 ～ 12:20 | <p>□ [神田外語大] 基本的英語コミュニケーション能力からアカデミックな英語能力の育成に向けて：これまでの取組みと今後の方向性 神田外語大学 小林 真記</p> <p>1. 英語教育の理念と目標 (1) 英語教育と教養教育の統合 (2) 英語教育の理念 (3) 到達目標</p> <p>2. 実践的なコミュニケーション能力と自律性の育成 (1) 学習・教育環境 (2) 英語で行われる四技能統合型授業 (3) 1・2年次必修科目と専任教員 (4) 3・4年次の内容重視英語科目履修に向けて (5) 自律学習モジュール</p> <p>3. よりアカデミックな英語能力の育成に向けて (1) アカデミック・リテラシーの強化 (2) 上級クラスの設定 (3) 英語による専門科目のさらなる充実 (4) 内容重視英語科目のレベル分け (質疑応答)</p> |
| 13:20 ～ 14:40 | <p>□ [国際教養大] 国際教養を身に付けるための英語能力の熟達 ～ 英語で学ぶ力を養う英語集中プログラム EAP ～ 国際教養大学 長沼奈絵子</p> <p>1. 英語集中プログラム・ブリッジプログラム・英語基礎コースカリキュラム概要 (1) 英語集中プログラム (2) ブリッジプログラム (3) 英語基礎コース</p> <p>2. 英語集中プログラム・ブリッジプログラムの構成 (1) 英語集中プログラム (2) ブリッジプログラム</p> <p>3. 英語集中プログラムのクラス分け・進級要件と基盤教育への進級要件 (1) クラス分けの手段 (2) Level 1 から Level 2 への進級 (3) Level 2 から Level 3 への進級 (4) Level 3 から基盤教育への進級</p> <p>4. 基盤教育における英語基礎コースとのつながり</p> <p>5. 能動的学修支援センター (Active Learning Support Center) との協力体制 (1) 言語異文化学修センター (2) 学修達成センター (質疑応答)</p> |
| 14:50 ～ 16:10 | <p>□ [大阪女学院] 英語教育と学士課程教育の統合を学習の中心に据えた取組みの実際 ～ コンテンツベース学習/iPad 導入/学習サポートセンター ～ 大阪女学院大学 同短期大学 加藤 映子</p> <p>はじめに～ “英語力” と “教養” の大阪女学院教育の継承と進化</p> <p>1. 1・2年次の基礎段階と到達目標 (1) 英語の4技能習得のための指導体制の充実と指導法の統一 (2) オリジナルプレイスメントテスト・習熟度別クラス・ティームティーチング (3) iPod/iPad 導入～デジタル教科書の導入 (4) コンテンツベース学習、プロジェクトベース学習 (5) 学習サポートセンターの利用 (6) 海外研修、留学に向けて</p> <p>2. 3・4年次の専門教育への接続とアウトカム (1) 学生が目的意識を持ち、自ら学習する力を育む (2) 100%英語の授業～「必ず英語は上達する」 (3) 確かな就職・院進学へ (質疑応答)</p> |
| 16:20 ～ 17:40 | <p>□ [関西外大英語キャリア学部] 国際社会で活躍する人材育成のための取組み事例と成果 関西外国語大学 松宮 新吾</p> <p>1. 英語キャリア学部3年間の取組成果 (1) TOEFL ITP のテスト・スコア (2) 留学状況</p> <p>2. 英語キャリア学部のディプロマ・ポリシー (1) 育成すべき学生像 (2) 英語キャリア基礎力 (3) 高度国際職業人</p> <p>3. 英語キャリア学部のカリキュラム・ポリシー (1) 専門複合科目群の履修 (2) 専門研究科目群の履修 (3) 専門留学 (質疑応答)</p> |